

日頃から『医療と福祉のサポート室』のご支援ありがとうございます。
今号では、前号からの続編：相談室の看護師のご紹介「第2弾入院支援看護師」をお届けします。2名の入院支援看護師が活躍しています。
また、フレッシュな顔ぶれのご紹介もいたします。



新しく着任しました！

4月より医療福祉相談室の入院支援部門へ配属となりました。

専門的に入院・退院にかかわることは初めてなので、わからないことも多くありますが、病棟勤務で得た知識も活用しながら業務にあたっていきたいと思います。

患者様の安全・安楽な入院生活につながるよう、先輩方にご指導・ご協力をいただきながら支援介入に努めてまいります。よろしくお願ひいたします。

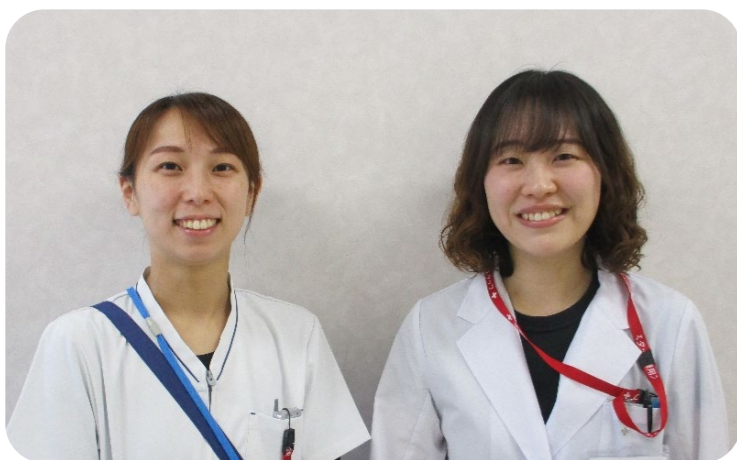
入院支援看護師 岩崎 桃子

4月に佐渡総合病院より転勤してきました。初任地の佐渡から地元へ戻って来られたことを嬉しく思います。

初めての転勤のため、新潟市と佐渡市の環境の違いや病院・施設等の社会資源の多さに戸惑いながら勤務しているところです。勤務地が変わることで、院内スタッフや地域の関係機関のスタッフとの関わりも一からになるので緊張しますが、相談の際には声をかけさせていただきたいと思います。

環境が変わっても、MSWとして患者様・ご家族の思いに寄り添い、見えてきた課題と一緒に整理していくこと、関係機関とつなぐことは変わりません。佐渡で学んできたことを生かしながら、新しい知識も吸収し、連携を図っていきます。教えていただくことも多々あるかと思いますが、よろしくお願ひいたします。

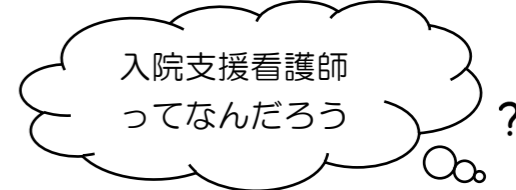
社会福祉士 奥野 芽生



医療福祉相談室の看護師の役割・入院支援看護師について

入院支援看護師をご存じですか？

最近、病棟や外来に現れる『入院支援看護師』の役割についてお話しします♪



🏠 入院支援の目的

- 入院するまでの患者様の不安を聴く窓口になる。
- 早期に関わりを持つことで、短期入院の患者様にも適切な退院調整を行える。

～具体的には～

- ・入院(発症)前の生活状況を把握(退院後の視点で情報収集)
- ・患者様が入院の理由・目的を理解し、入院後の見通しをイメージできるようになる
- ・退院支援の必要性を、医療者間・患者・家族と共有する

🏠 入院時支援加算に基づき230点を算定

当院での介入対象者

- ・予定入院の方で65歳以上の患者様と入院での抗がん剤治療の患者様
- その他にも退院後の生活に不安のあるなど調整が必要そうな方
- ・また算定には、退院支援計画書に基づいた支援を行った患者様に限られます。
- つまり退院困難な事由があり、退院に向けた支援の実施が必要です。

🏠 入院支援看護師の業務内容

- ・予定入院患者様のアナムネ聴取(身体的、精神的、社会的背景の把握)
- ・介護申請している方は情報提供と共有(ケアマネジャーや施設職員など)
- ・病棟看護師や退院看護師と情報共有 など

🏠 担当者の声・目指すもの

「治療が円滑に行われ、患者様が望む場所へ退院調整ができ、入院期間の短縮につながり、よりよい環境での生活が続けられる」

このような流れをつくり続けられるよう支援していくことが入院支援の役割だと感じています。



不安を傾聴しながら必要な項目を聞き取るには時間がかかります。慣れない頃は、1時間かかることもありましたが…長時間になると患者様も疲労感が増します。聞き取る項目・お伝えすることの要点をまとめるよう心がけています。

(医療福祉相談室 看護師：倉持・岩崎)